

ユースワーカー養成公開研究会

「ユース・スタディーズ（若者学）事始め！」

立命館大学と(財)京都市ユースサービス協会は共同研究として、2003年から若者の成長を支援する専門スタッフであるユースワーカーの養成方法を探求してきました。2006年からはその研究成果を問う意味で、立命館大学大学院応用人間科学研究科に全国に先駆けてユースワーカー養成の専門プログラムを設置して、これまでに30人あまりの修了者を送り出してきました。今回、タイトルにあるように、大人への移行の支援を包括的に研究する学術的基盤としての「ユース・スタディーズ(若者学)」の構築を考えるとともに、ユースワークの裾野を広げていくことを目指して、公開研究会を企画しました。

青少年育成や自立支援に関わりや関心を持つ方々にご参加いただきたいと思います。

日時 2011年11月23日(水・祝)

13:30～17:00

会場 立命館大学朱雀キャンパス

2階 202号室(JR二条駅前/市バス千本三条)

対象

青少年活動、若者の支援などに関わる人、研究者、学生・院生など40人程。

主催

立命館大学人間科学研究所
(財)京都市ユースサービス協会

プログラム

13:00 開場

13:30 開会 ゲストスピーチ(平塚眞樹さん)

欧米のユースワーク事情の調査を基に、若者の「移行期」支援におけるユースワークの役割と意味についてお話いただきます。

15:00 グループディスカッション

いくつかのグループに分かれて、ユースワーク現場の実践報告を基にディスカッションします。

16:30 まとめ/ゲストコメント

17:00 閉会



ゲスト・報告予定者紹介

平塚 眞樹(ひらつかまき)さん:法政大学社会学部教授(教育学)。若者が大人になっていく「移行期」におこる問題の“個人化”、支援の“個人化”に懸念を指摘されるとともに、そこにおけるユースワークの価値を提起されています。

実践報告は、京都市ユースサービス協会の“若手”ワーカー、子ども支援のNPOスタッフ、立命館大学大学院応用人間科学研究科院生の皆さんなどをお願いしています。

懇親会

閉会后、懇親会を開きたいと考えています。もしお時間許せばご参加を予定いただければ幸いです(懇親会の参加ご希望の方は前日までにお申し込みください)。

公開研究会会場について

* 会場の立命館大学朱雀キャンパスは、JR二条駅から南へ徒歩2～3分の場所です。

* 会場に駐車・駐輪の設備はありません。公共交通機関を利用してお越しください。